

氏名	佐々木一恵（ささき もとえ） 教授
こんな研究をしています	19世紀末から20世紀初頭のニューヨークにおけるプロテスタント教会による政治・社会改革活動から、都市公共領域と宗教との関係について、ジェンダーの視点を交え検討しています。
こんな成果を挙げています	<p>【著書：単著】 <i>Redemption and Revolution: American and Chinese New Women in the Early Twentieth Century</i> (Ithaca, NY: Cornell University Press, 2016).</p> <p>【著書：共著】 「ジェンダーからみるグローバル・ヒストリー：女子教育とジャンヌ=ダルクの『普遍化』から」、上智大学アメリカ・カナダ研究所、イベロアメリカ研究所、ヨーロッパ研究所共編『グローバル・ヒストリーズーナショナルを超えて』（上智大学出版社、2018年）。</p> <p>【論文】 “Excludable Aliens vs. One National People: The U.S. Chinese Exclusion Policy and the Racialization of Chinese in the United States and China,” <i>The Japanese Journal of American Studies</i> (no.23, 2012).</p> 「キンボ・アボの大陸間移動とグローバル・ヒストリー」、『異文化別冊』（2010年）。 “American New Women Encountering China: the Politics of Temporality and Paradoxes of Imperialism, 1898-1927,” <i>Journal of Colonialism and Colonial History</i> 10, (no.1, Spring 2009). <p>【その他】 「回顧と展望-アメリカ（北アメリカ・後半）」『史学雑誌』124(5)（2015年）。</p> 「ニューヨークのチャイナタウン」『華僑華人事典』丸善出版(2017年)。
ほかに、こんなジャンルに関心をもっています	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀後半から20世紀初頭にかけてのアメリカにおけるジェンダー問題 ・公共領域と宗教、世俗主義の形成 ・アメリカ合衆国のプロテスタント教会と社会運動
こんな授業を行なっています	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀末から20世紀末にかけての歴史学の変遷を、周辺領域（文学・文化人類学・社会思想）の動向と関連付けながら検討しています。 ・「世界史」というパラダイムそしてイデオロギーが、近代の歴史意識をどう形作ってきたのかを検討しています。
学会や社会でこんな活動をしています	アメリカ学会の英文ジャーナルの編集委員をしています。